

# イチゴ「福島14号」の育成

福島県農業総合センター 作物園芸部 品種開発科

部門名 野菜－イチゴ－品種、育種・選抜

担当者 秋葉未歩、東海林聡美

## I 新技術の解説

### 1 要旨

本県産イチゴのブランド化と産地の拡大を図るため、良食味に加え、高品質で栽培管理の容易な品種が求められている。そこで、果実硬度に優れる「とちおとめ」と草勢が強い「かおり野」を交配して得られた種子から選抜した「福島14号」を育成した。主な特性は、以下のとおりである。

- (1) 草姿は立性、草勢は強で、厳寒期においても無電照で草勢が維持される（表1）。「とちおとめ」と比較して、わき芽の発生は少なく、果房がやや長く折れにくいいため作業性に優れる。
- (2) 果形は長円錐、果皮色は鮮橙赤（図1）。
- (3) 「とちおとめ」と比較して、収穫開始時期が早く、年内収量が多い。また、3L以上の大果の割合が多く、奇形果が少ない。良食味で果実糖度が高く、果皮硬度が高い傾向にある（表2～4、図2）。

### 2 期待される効果

- (1) 厳寒期でも草勢が維持されることから、県内全域で栽培できる。
- (2) 県外市場へ輸送するため着色度60～80%程度の完熟前に収穫しても、「とちおとめ」と比較して糖度と硬度が高く、優れた品質での出荷が可能である。
- (3) 年内収量を確保できるため、クリスマスや年末年始の需要期に出荷が可能となる。

### 3 適用範囲

県内全域

### 4 普及上の留意点

- (1) 第2果房収穫後、果房の発生が遅れることがある。
- (2) 頂果は大果であるが、すそ果が小玉になりやすい。
- (3) 病虫害防除は、「とちおとめ」と同様に適期防除につとめる。

## II 具体的データ等



図1 果実(2020年12月28日撮影)

表1 収穫開始時の生育(2020年12月22日、高設栽培、電照無し)

| 品種・系統名    | 草姿 | 草勢 | 草丈<br>(cm) | 葉柄長<br>(cm) | 小葉長<br>(cm) | 頂果房長<br>(cm) | 頂果房果数<br>(個) |
|-----------|----|----|------------|-------------|-------------|--------------|--------------|
| 福島14号     | 立性 | 強  | 23.1       | 9.1         | 7.2         | 25.9         | 14.1         |
| とちおとめ(標準) | 中間 | 中  | 14.1       | 5.6         | 6.0         | 21.9         | 15.7         |

表2 頂果房の開花日・収穫開始日、1株当たりの収量及び果実品質(2020年11月～2021年5月、高設栽培、電照無し)

| 品種・系統名    | 開花日   | 収穫<br>開始日 | 年内収量 <sup>1)</sup> |       | 合計収量 <sup>2)</sup> |       | 大果率 <sup>3)</sup><br>(%) | 奇形果   |       |
|-----------|-------|-----------|--------------------|-------|--------------------|-------|--------------------------|-------|-------|
|           |       |           | 果数(個)              | 重量(g) | 果数(個)              | 重量(g) |                          | 果数(個) | 重量(g) |
| 福島14号     | 11/10 | 12/17     | 3.6                | 90.5  | 35.3               | 538.7 | 42.9                     | 1.2   | 21.0  |
| とちおとめ(標準) | 11/14 | 12/28     | 0.7                | 24.6  | 32.8               | 500.6 | 38.0                     | 2.9   | 67.9  |

1) 2020年11月～12月の規格内収量

2) 2020年11月～2021年5月の規格内収量

3) 3L以上果実収量/規格内収量(奇形果を除く6.0g以上の果実)

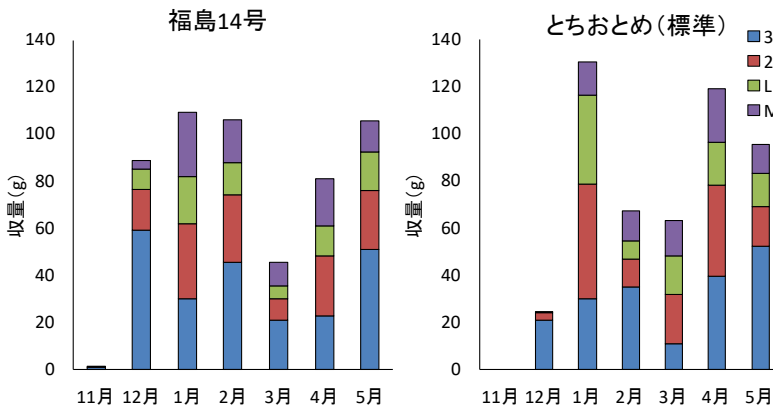


表3 果実糖度(%Brix)(2020年11月～2021年5月、高設栽培)

| 品種・系統名    | 12月  | 1月  | 2月   | 3月   | 4月   | 5月   |
|-----------|------|-----|------|------|------|------|
| 福島14号     | 11.7 | 9.3 | 11.2 | 10.6 | 12.1 | 10.8 |
| とちおとめ(標準) | 11.0 | 9.3 | 10.9 | 11.2 | 10.3 | 9.6  |

表4 果皮硬度(gf)<sup>1)</sup>(2020年11月～2021年5月、高設栽培)

| 品種・系統名    | 12月   | 1月    | 2月    | 3月    | 4月    | 5月   |
|-----------|-------|-------|-------|-------|-------|------|
| 福島14号     | 105.0 | 140.4 | 125.6 | 148.9 | 106.6 | 91.9 |
| とちおとめ(標準) | 151.9 | 118.5 | 118.7 | 124.6 | 84.8  | 65.9 |

1) クリープメーター(YAMADEN、RE2-3305S)にて測定、φ3mmの円柱形プランジャーを1mm/secで最大貫入させた時の貫入抵抗値

図2 1株あたりの月別規格別商品果収量<sup>1)</sup>(2020年11月～2021年5月)

1) 奇形果を除く6.0g以上の果実

## III その他

### 1 執筆者

秋葉未歩

### 2 成果を得た課題名

(1) 研究期間 平成26年～令和3年度

(2) 研究課題名 競争力と個性のある野菜品種の育成

### 3 主な参考文献・資料

なし